

報道関係者各位

2026 年 1 月 6 日

ストライプジャパン株式会社

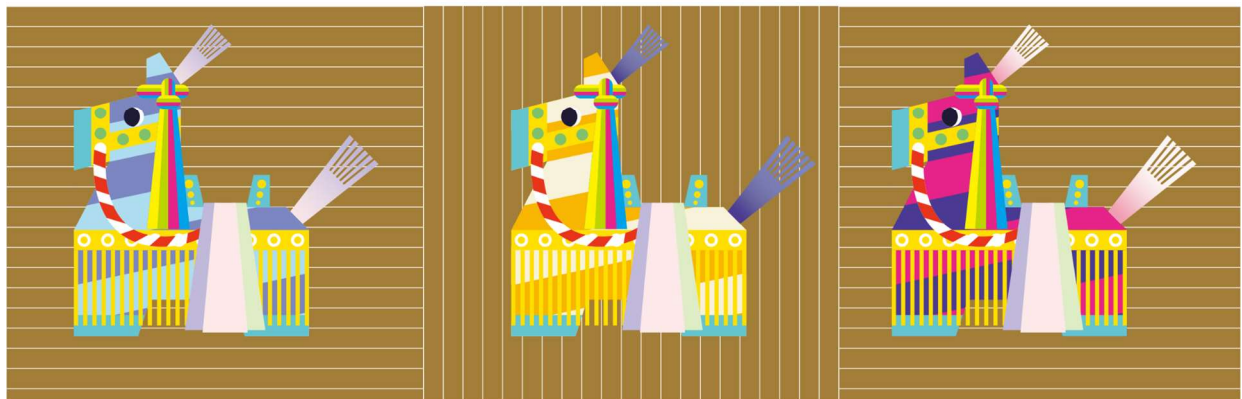
Stripe より年始のご挨拶

～マネームーブメントにおける 2026 年の展望: AI とステーブルコインが拓く未来～



HAPPY NEW YEAR 2026

stripe



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

2026 年も、決済とマネー ムーブメント (資金の移動) が大きく進化する年になると確信しています。

2025 年は、AI がもたらした広範囲にわたる影響により、AI チャット内での購買を可能とするエージェントック コマースという新たな商取引形態の台頭など、デジタル経済における事業環境に加速度的な変化が訪れた年でした。また、米国における GENIUS 法案の可決をきっかけに、世界中で法定通貨と連動したデジタル通貨のステーブルコインへの信頼性が飛躍的に高まり、多くの注目を集めました。今年も決済業界は更に急速に進化すると考えられ、加速した決済による事業の多角化や国際間の取引など、ビジネスモ

デルの変化や新しい事業機会が訪れると見込まれます。

Stripe では、インターネットの GDP を拡大するという使命のもと、プログラマブルな金融インフラを構築してまいりました。[年間決済総額](#)は約 GDP の 1.3 % に相当する 1.4 兆ドル (約 210 兆円) を超えたほか、AI やステーブルコインに積極的な投資を行っています。今年も、ユーザーニーズに耳を傾け、決済技術の向上を目指しながら、新たな分野への投資を意欲的に行っていく予定です。

スピード感を持った戦略的な AI 投資

AI 技術が急速に発展したことで、世界中で新たな事業機会が生まれつつあります。その中で、Stripe では、AI にまつわる、1) エージェント型 コマースの確立、2) 急成長する AI 企業向け決済ソリューションの提供、3) 開発者向け AI ツールの提供、4) Stripe プラットフォームの AI 技術の底上げという 4 つの分野で戦略的な投資を行っています。

1) AI エージェントによる新しい購買体験エージェント型 コマースのためのオープンスタンダード [Agentic Commerce Protocol \(ACP\)](#) を OpenAI と共同開発し、[ChatGPT 内の Instant Checkout](#) 機能の支援を開始しました。また、ローコードで単一統合できる [Agentic Commerce Suite](#) により、Stripe ユーザーはチャット内での AI エージェント向け決済をより簡単に導入することができるようになりました。

2) 世界的に AI 企業は急速な成長を遂げており、スピード感を持った確実な収益化が重要視されています。多岐に広がる AI の利用には、使用料ベースの従量課金など、複雑な価格モデルや課金システムが要求されるなか、[OpenAI](#) や [Anthropic](#) など、Forbes AI 50 に選出され収益を上げている AI 企業全てが Stripe を利用しています。

3) [Stripe AI エージェントツールキット](#)をはじめ、[MCP](#) サーバーや Visual Studio Code の [AI Assistant](#) など、目まぐるしくアップデートされる AI 向けのツールを開発者に提供しています。

4) 数百億件の決済データから学習した[世界初の決済特化型 AI 基盤モデル \(Payments Foundation Model\)](#) の構築により、Stripe ユーザーの決済における不正検知精度や承認率向上を大きく改善しています。

エージェント型 コマースは、2030 年までに米国小売業界で最大 1 兆ドル (約 155 兆円) の収益を生み出し、世界全体では最大 5 兆ドル (約 750 兆円) に達する可能性がある*と言われており、世

界的にも注目が高まっています。日本においても、この大きなうねりに対して危機感を持った多くの企業からのお問い合わせを頂いております。先行して導入している米国での経験値を踏まえ、いざエージェンティックコマースの波が日本市場に到達した際に必要な準備のお手伝いをしていく所存です。

高まるステーブルコインへの注目

昨年新たな注目分野となったのは、仮想通貨のステーブルコインです。世界でその市場規模の時価総額は 2,300 億ドル (3 兆 4,500 億円) に達しました。Stripe ではステーブルコイン プラットフォームの [Bridge](#) やウォレットの [Privy](#) の買収、また決済特化型ブロックチェーンの [Tempo](#) の公開など、積極的な投資を行い環境を整えています。これを元に、わずか数行のコードで独自のステーブルコインを発行・管理できる「[Open Issuance](#)」や資金管理機能 [Stablecoin Financial Accounts \(ステーブルコイン金融口座\)](#) など、続々と機能を拡充しています。

日本に特化したソリューションの拡充

昨年 Stripe は、年次イベントの「[Stripe Tour Tokyo 2025](#)」にて、国内市場向けに店頭決済とオンライン決済を統合し、チャネルに関わらず顧客にシームレスな買い物体験を提供するユニファイド コマースソリューション [Stripe Terminal](#) の提供開始を[発表](#)しました。決済手段の多様化により、複数システムの導入に伴う決済の裏コストを[実感している日本](#)において、Stripe Terminal に効率的な在庫管理や迅速な意思決定が可能となり、煩雑な決済業務や消費者の購買モーメント損失を解消します。日本最大のコード決済サービス PayPay との[連携](#)に加えて、iPhone のタッチ決済にも対応するなど、ユーザーの事業拡大の可能性を広げます。さらに、[NEC との協業](#)など、パートナーを通じた取り組みも模索しています。

クレジットカード決済における支払いの負担を軽減する人気の決済方法[分割払い機能](#)の提供も開始しました。また、高まる越境決済ニーズに応えるため、[JCB カードの多通貨決済](#)の提供で 100 以上の通貨での決済を可能にしました。さらに、引き続き必須化となった 3D セキュア 2.0 の導入にご苦労されている企業の負担を軽減するお手伝いをしています。

日本は世界的にもユニークで、言語のみならず独特なビジネス文化やスキームなど、配慮すべきところが沢山ある、頑張りがいのある市場です。また、世界中の企業を支援する経験を用い、[メルカリ](#)などグローバルに事業拡大を目指す企業を積極的にサポートしています。今年も、さらに日本企業の皆様のニーズに合ったプロダクトや機能を投入していく予定です。

マネームーブメントの今後

AI の普及によるビジネスモデルの変革はすでに世界中で顕著な動きであり、今後も加速度的に影響を受

けていくことが予想されます。その中でも、エージェンティック コマースは、人々の購買行動を根本的に変えていくと注目されており、その強力な潮流に合わせる形で様々な業界が商業形態や事業構造の方向修正を余儀なくされていくと見られています。日本においても導入が本格化するにつれ、消費者や企業に大きな影響を与えると予測されています。

他にも決済にまつわる注目すべき動きとしては、昨年末に全面施行されたスマホソフトウェア競争促進法（通称：スマホ新法）です。これにより、スマートフォン上でゲームやデジタルコンテンツなどのサービスを提供するアプリ事業者は、外部決済の利用が可能となるため、多くの事業者間で決済手数料の最適化やアプリ価格・サブスク料金の柔軟化などを加味したビジネスモデルのアップデートが行われていくと見られています。

今年 10 周年を迎える Stripe Japan は、2026 年もあらゆる規模・業界の事業変革を力強く後押しし、積極的に海外進出する企業を支える存在であり続けます。今後もユーザーの皆様と共に成長を続け、多様なニーズにお応えしていく所存です。

最後になりますが、皆様のご健勝と貴社の益々のご発展を心よりお祈り致します。
本年も昨年同様宜しくお願い申し上げます。

ストライプジャパン株式会社

代表取締役

平賀 充、ダニエル・ヘフェルナン (Daniel Heffernan)

* [IDC 国内 AI システム市場予測、2025 年～ 2029 年](#)

* [BIS Annual Economic Report 2025](#)

* [矢野経済研究所](#)

* [マッキンゼー](#)

日本円換算は一律 1 ドル = 150 円で計算しています。

#####

Stripe について

Stripe は、プログラマブルな金融サービスを構築する企業です。世界の何百万もの企業が Stripe を利用して、オンラインおよびでの決済や組込型金融、収益モデルのカスタマイズを推進し、より収益性の高いビジネスを築いています。サンフランシスコとダブリンに本社を置く Stripe は、世界の GDP の 1.3 % に相当する年間 1.4 兆 ドル (約 210 兆円) 以上の決済を処理しています。Stripe を利用する企業には、Fortune 100 の半数、Forbes Cloud 100 の 80 %、Forbes AI 50 に選出されている企業が含まれています。AI とステーブルコインにフォーカスを置いた事業拡大と研究開発への投資を通じて、Stripe はグローバル経済における最先端技術の普及に貢献しています。

詳しくは <https://stripe.com/jp> をご覧ください。